

八雲町育成牧場運営協議会 会議録

■日時 令和6年4月23日（火） 13:30～14:15

■場所 八雲町役場3階議員控室

■出席

運営委員：舟田進一、佐藤正之、都築岳志、都築享子、小野泰、前川眞由美
渡島農業改良普及センター渡島北部支所：佐藤係長

JA新函館八雲支店北部酪農畜産センター：上村センター長

北海道NOSAIみなみ統括センター道南支所道南東部家畜診療所：澤村所長

株式会社青年舎（指定管理者）：吉田社長、荻本マネージャー

八雲町：成田副町長、石坂課長、上野課長補佐、高嶋係長

傍聴者：1名

■顛末

1. 挨拶（八雲副町長 成田 耕治）

令和6年度の運営につきまして、皆様のご協力をいただきながら取り進めて参りたい。今年1年が大きな事故、災害もなく経過すること、関係機関皆様のご健勝を祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

2. 報告事項

（1）令和5年度運営状況について

①令和5年度決算（指定管理者説明）

委員）12月に開催された運営協議会で、委託料の項目にスラリー散布に係る経費が含まれていなかったが、今回、スラリー散布費用を委託料に計上した理由はなぜか。

管理者）育成牧場へのスラリー散布費用は、株式会社青年舎の決算で処理する予定であったが、育成牧場の決算として区分すべきだと社内で判断したことから、今回、育成牧場委託料に計上したところ。

②繁殖管理状況（指定管理者説明）

委員）初回授精のタイミングは、月齢と増体どちらで判断しているのか。

管理者）畜主と協議しながら月齢と増体の両方で判断し授精している。

3. 協議事項

（1）令和6年度の運営について

①収支計画（指定管理者説明）

委員）令和5年度の育成牧場従事職員は2名だったが、令和6年度は3名体制にできるのか。

管理者）3名体制にできるよう社内で調整している。

委員）株式会社青年舎のスラリーを牧草地へ散布した結果、植生はどのように変化したのか。

管理者）雑草（ギシギシ）が減少し、イネ科牧草（チモシー等）の生育が良好になったと評価している。

②入牧状況（指定管理者説明）

委員より異議なし

③入牧（令和6年5月1日・10日・22日の3日間で実施予定）（指定管理者説明）

委員より異議なし

4. その他

委員）酪農学園大学から牛の消化管寄生虫のモニタリングを実施できないか北海道NOSAIへ協力の依頼があった。育成牧場の牛10頭程度、7月から8月頃にサンプリングの採取をさせていただきたいと考えているが問題ないか。

管理者）協力させていただく。

委員）令和5年度はダニを介して感染するピロプラズマ病（牛の赤血球に寄生する原虫により貧血を起こす）対策としてバイチコールを何回塗布したのか。

管理者）7月頃までに4回塗布。秋頃に再度1回塗布したほうが効果的であると獣医等にアドバイスいただいたが、費用が増加することから、利用者の理解を得ながら実施していきたいと考えている。